



—東地中海地域ニュース—

トルコ：PKKによる一方的停戦宣言

(16日付現地紙)

16日付現地紙は、PKKの一方的停戦宣言について、以下のように報じている。

1. 13日、PKKの指導者の一人であるテケン（Bouzan Teken）は、カンディル山中で行われた記者会見において、「PKKは8月13日から9月20日までの間、トルコ国内での全ての作戦を停止する。停戦の期日は一定の要求が満たされた場合には延長され得る」と述べ、トルコ政府に対し、（PKKによる一方的停戦ではなく）PKKとトルコ政府双方による停戦、拘留されている1700人の親クルド政治家の釈放、政党が国会に議席を得るために必要な得票率10%の下限の引き下げ、オジャラン PKK 指導者を紛争当事者として認めることを求めた。
2. 15日、マスード・バルザーニ KRG 大統領は、「我々は PKK による停戦が継続し、一定の期間に限られることがないことを望む。さらに、我々が常に強調しているとおり、本件は戦争ではなく、平和と対話を通じてのみ解決することができる問題である」と述べ、PKK の決定を歓迎するという声明を発表した。

なお、トルコ政府はこれまでの所、この PKK による一方的停戦宣言に対して、いかなる反応も示していない。